

\*\*\* 記事 \*\*\*

お知らせ

第十一回東アジア科学史国際会議

表記の The 11th International Conference on the History of Science in East Asia (11th ICHSEA) が来年の二〇〇五年八月一五日から二〇日の期間、ドイツ・ミュンヘンにて開催予定で現在、発表者を募集している。テーマは①東アジアにおける科学技術史と医学史、②東アジアと西洋における科学技術と医学の比較史。③東アジアと「西洋」における科学技術と医学の文化的背景に関する法的・社会的・論理的問題ほか。

本会議の第一報全文が以下のインターネットURLに掲示されているので、参照されたい。

<http://www.dcgm.de/service/isleasstm2005/>

連絡先は Dr. Florian Mildenberger, Institute for the History of Medicine, Munich University, Lessingstr. 2 D-80336 Munich Germany.  
Eメール sekretariat.igm@lrz.uni-muenchen.de

(真柳 誠)

例会記録

平成十五年十二月例会 (日本薬史学会・日本獣医史学会と合同)

平成十五年十二月二十日

順天堂大学医学部十号館一〇五カンファレンスルーム

一、ヒューマン・アニマル・ボンド (HAB) の歴史

加藤 元

一、プラセボ今昔物語

津谷喜一郎

一、蘭方内科草創期の薬用植物研究

遠藤 正治

一月例会 平成十六年一月二十四日

順天堂大学医学部十号館四〇三カンファレンスルーム

一、『本草品彙精要』巻二について

肖 永芝

一、齋藤茂吉・断種法史上の人びと (七)

岡田 靖雄

三月例会 平成十六年三月二十七日

順天堂大学医学部十号館四〇三カンファレンスルーム

一、野口英世の済生学舎在学中の「ペスト菌・顕微鏡標本箱」

について―原玄一郎医師の遺品寄贈を

唐沢 信安